

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

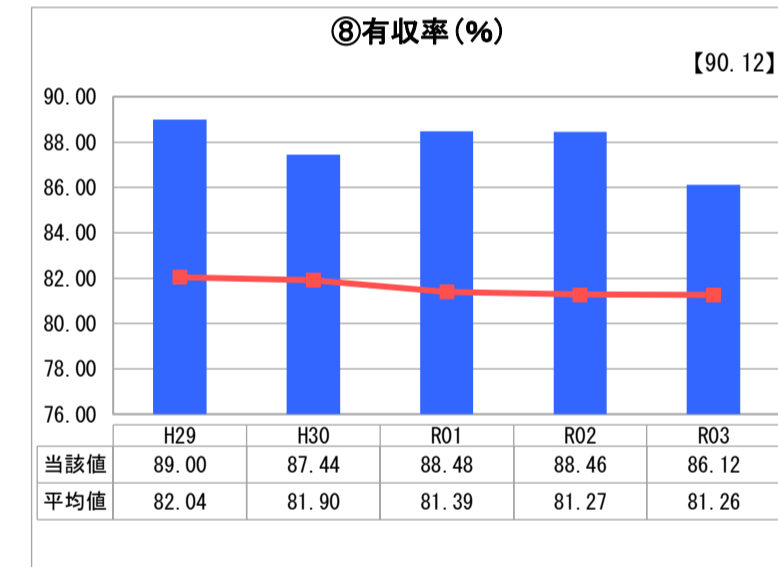
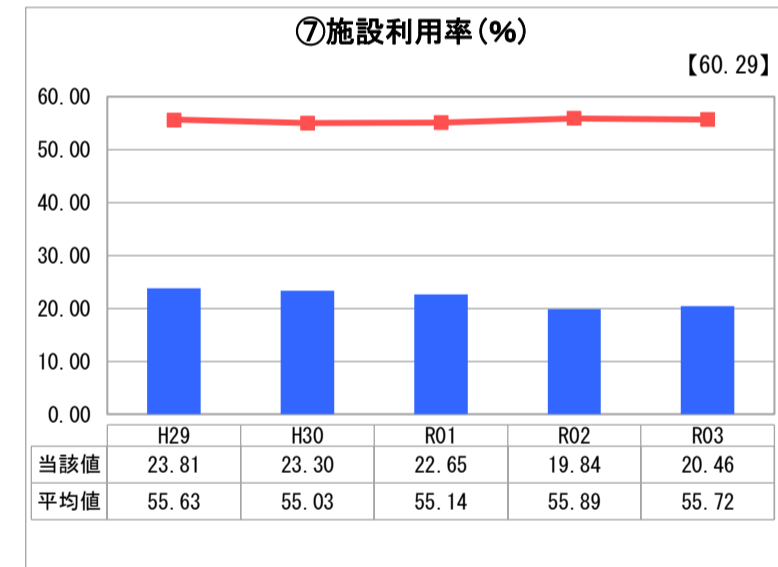
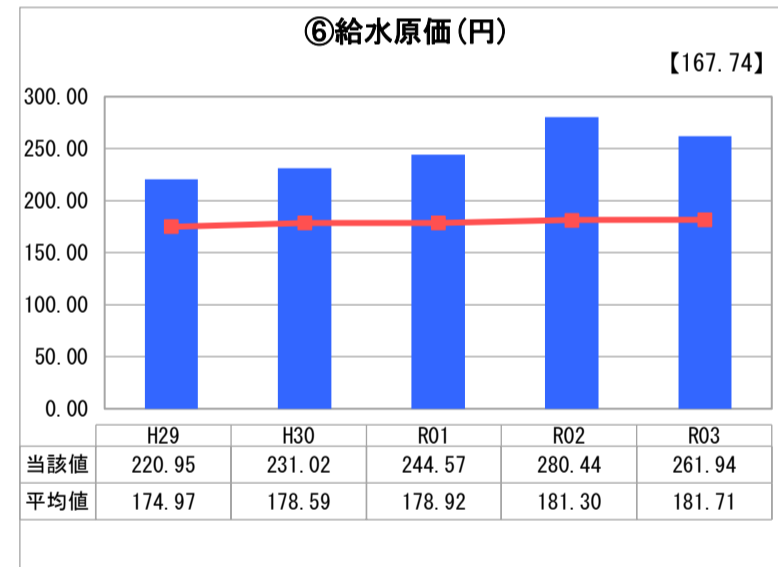
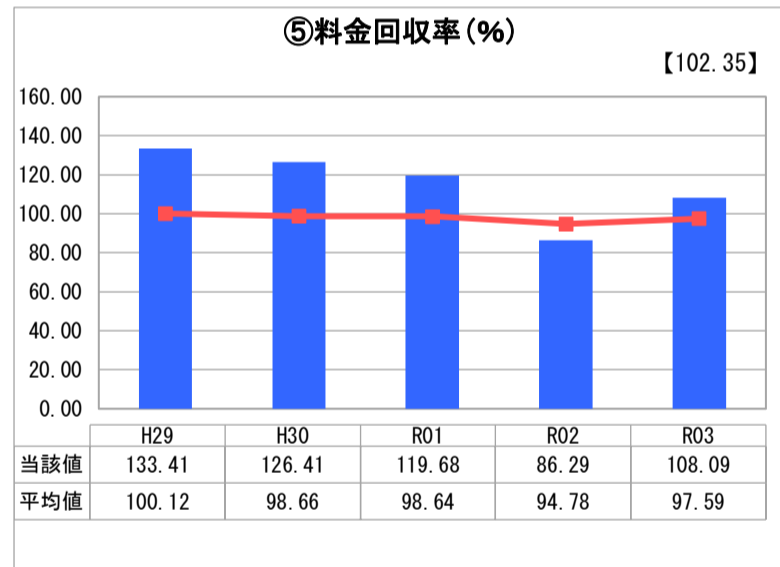
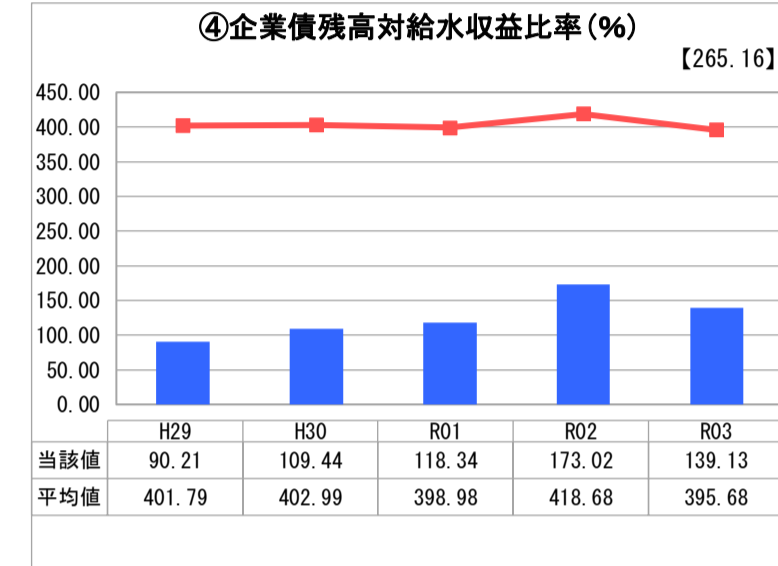
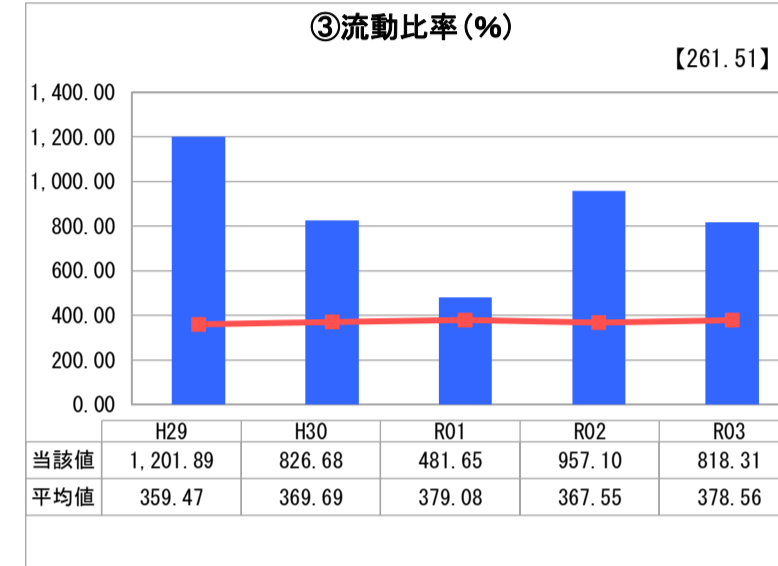
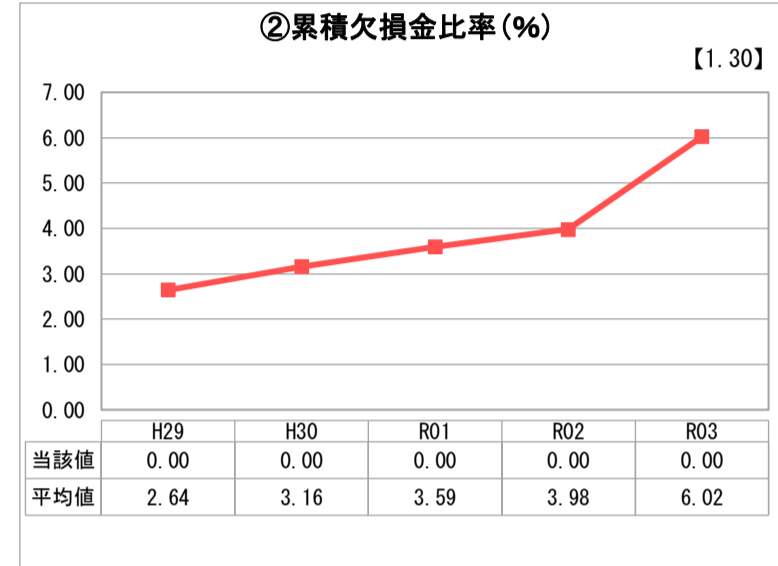
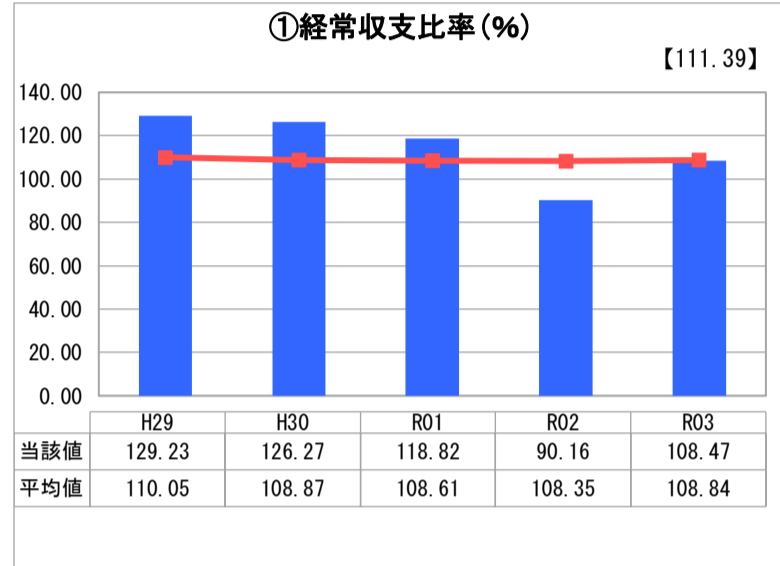
三重県 鳥羽市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	87.02	99.91	3,025	

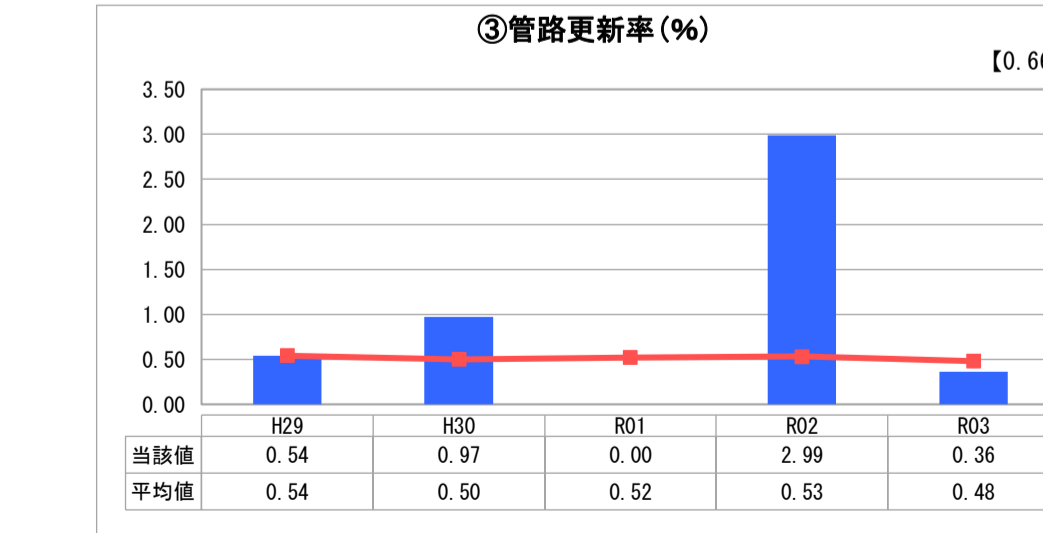
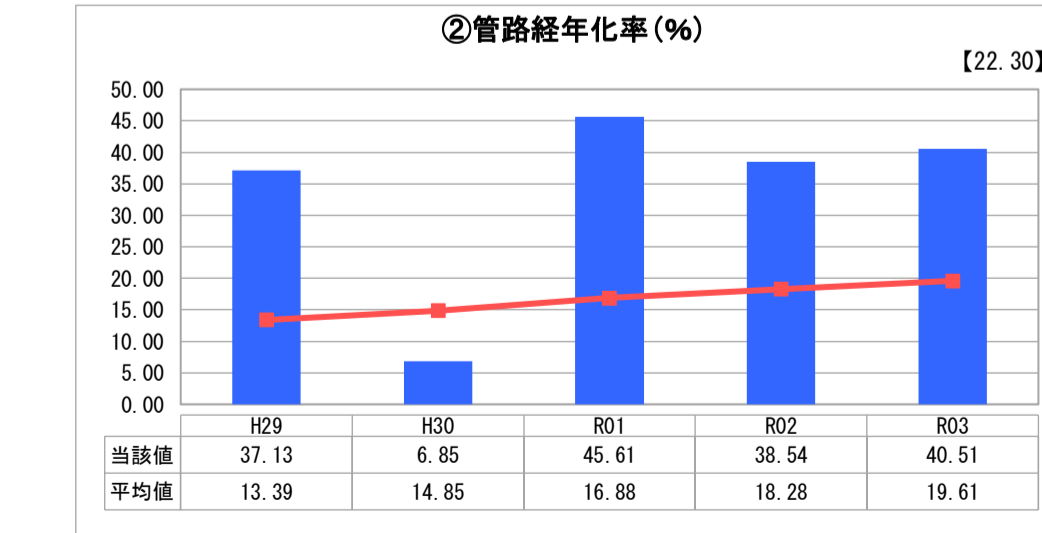
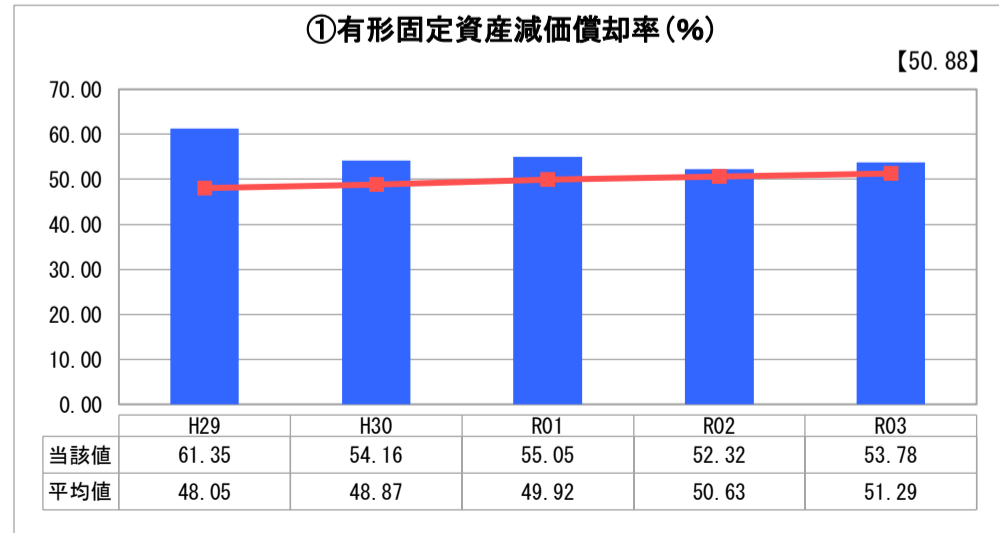
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
17,648	107.34	164.41
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
17,421	107.34	162.30

■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率では、令和2年度に実施した基本料金免除制度のような大幅に減収する要因が無かったことから、100%を上回る水準に回復した。流動比率は、全国平均よりも良好で資金繰りが安定しており、企業債残高対給水収益比率も低い水準であることから財政に弾力性がある状態といえる。なお、料金回収率は100%を上回っていることから、料金水準としては適切に設定されているが、給水原価が平均値に比して高く、施設利用率が低い状況であるなど経営効率という点では改善の余地があると考えられる。有収率は、計画的に漏水調査を実施しているほか、漏水の早期発見・早期対応に努めており、類似団体平均値を上回る水準を保っている。今後も貴重な水資源を有効に活用するため有収率の向上を図る。

### 2. 老朽化の状況について

本市の水道は、起伏に富んだ地形的特徴のため、配水池や加減圧を行うための施設を各所に配置した複雑な送配水システムとなっている。これらは観光需要や地域産業の発展を背景に昭和40年代から60年代に整備されたものが多く、施設の安定稼働を行うためにも日常的なメンテナンスが必要であるが多額の費用を要する。計画的な更新や大規模修繕などの長寿命化を図ると同時に今後の水需要を見据えた適正な規模への見直しや統廃合を含む施設の再配置についても検討する必要がある。また、管路についても重要な管路や地理的に災害時の影響が大きい地域での耐震化を優先的に進めるとともに、水需要に合わせた管路の大きさへの更新を行う必要がある。

### 全体総括

現在の経営状況は比較的良好であるといえるが、複雑な施設配置や、観光需要に対応するための施設規模であるという本市特有の事情により、維持等にかかる経費等は多く、健全な事業経営のためにはコスト削減の努力を続ける必要がある。また、施設・管路は、老朽化が進み改良や耐震化などが課題であることから更新需要に対応するとともに災害等に強い水道を目指していく。